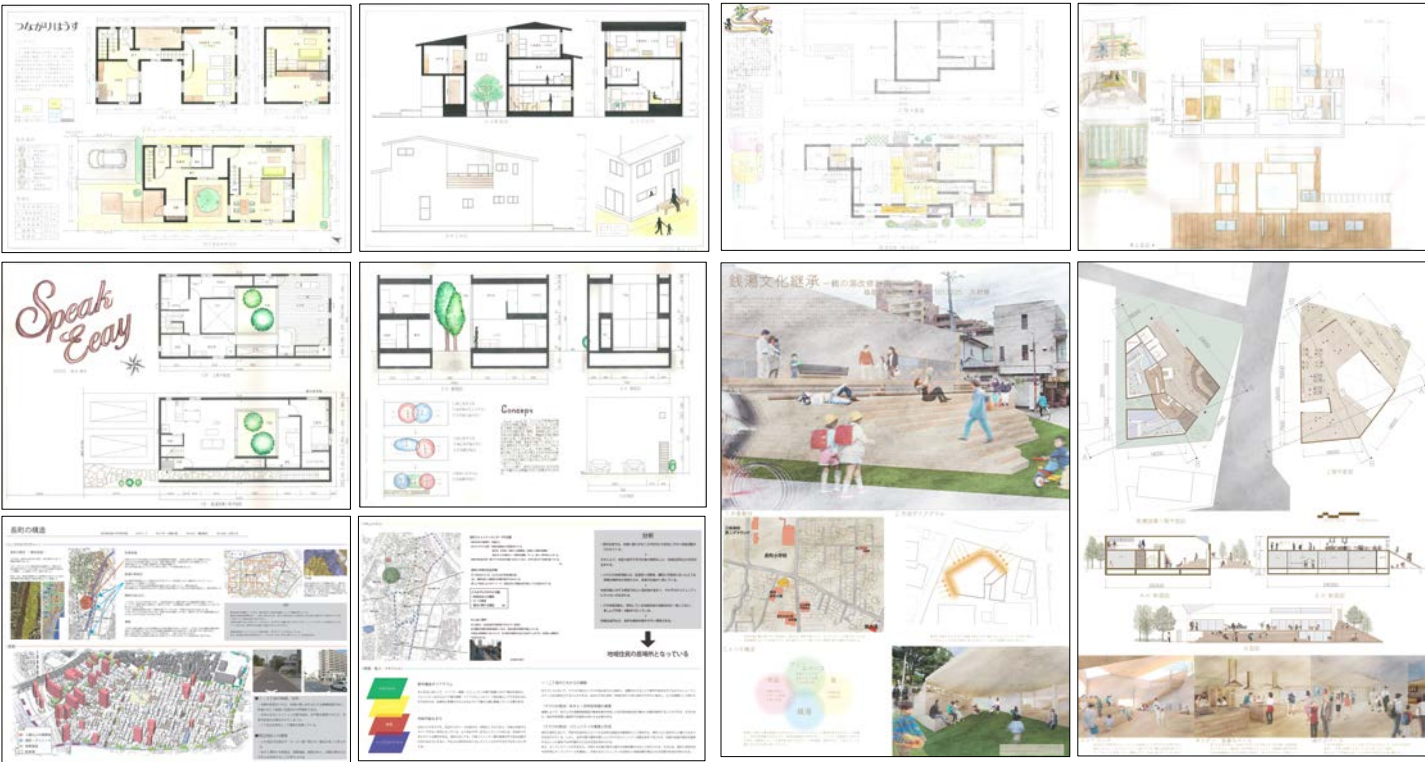




Pick Up News 新年あけましておめでとうございます。今年も建築学部をどうぞよろしくお祈りします。今年に入っても新型コロナウイルス感染症との闘いが続いています。学内外および佳境に入ってきた4年生の卒業論文・設計における研究室での感染予防の徹底を図っているところ。「モノ」を介しての感染も懸念されています。こまめな手洗い、手指のアルコール消毒を心がけて下さい。さて、学科の重要行事が続きます。1/25卒業論文・設計提出、2/8-9卒業論文・設計発表、2/19大学院修士論文発表審査、2/26~3/3メディアテークでの建築学展A展、2/26優秀卒業設計作品講評会、3/19学位授与式などとなっています。1~3年生はオンライン参加も含む見込みですが、全員に聴講してもらう予定です。将来をイメージする意味でも是非とも聴講参加して下さい。詳細はあらためて連絡いたします。



1年生(初めての自分での設計)と3年生の設計課題(後期)の作品を掲載します!

Lecture for young architects!

福武総一郎氏(ベネッセホールディングス名誉顧問)による特別講演会 [アートによる過疎地域の再生]。3月下旬にオンラインでの開催に向けて企画中。安藤忠雄氏ほか有名建築家による直島のアート建築、芸術活動は有名ですが、福武氏によりその理念が伺える講演となる予定です。直島プロジェクト



Pick Up Lab. 菊田研究室は2020年度からスタートし、一期生となる3年生が8人、大学院生が1名所属しました。研究室では建築に不可欠なコンクリートを代表としたセメント系材料の研究を行っています。セメント系材料と聞くと古臭い材料と思うかもしれませんが、古くから使われてきたセメントに先端的な材料、例えば高引力な化学合成繊維やカーボンナノチューブ、宇宙開発でも使用されるエアロゲルなどの材料を複合化させることで、これまでに無いような超高性能なセメント系材料も実現可能です。まだ世の中にない、全く新しい可能性を秘めた新材料の研究を学生の皆さんと共に進めています。



写真1 ゼミ生によるモルタル曲げ試験の様子



写真2 ゼミ研修の様子

3年 小田桐 圭吾くん
五所川原高校 出身

Pick Up Student 今年、大学生活の折り返し地点を迎え、自身の進路について考える機会が多くなりました。入学当初はデザインに関心があり、意匠設計について深く学びたいと考えていました。しかし、実際の設計課題は、細かい作業が苦手な自分にとっては難しいものでした。一方で、日々の講義を受講する中で、建築学科には意匠設計の他にも興味深い分野がたくさんあることに気がきました。そこで、3年後期の研究室配属では設備系の研究室を選択し、3次元CADを用いた設備設計について勉強しています。卒業後は研究室で得られた知識を活かした職場で働きたいと考えています。幅広い分野をもつ建築学科だからこそ、自分の得意分野や適性に合った進路選択ができたのだと思います。

1年 小松 愛美さん
仙台城南高校 出身

Pick Up Student 1年前は想像もしていなかった状況で大学生活が始まり、もうすぐ1年が経ちます。最初は大学生になった実感がわかず、授業形式など初めてのことばかりで戸惑ったところが多かったです。しかし、建築設計の講義を通し自分の考えや相手の意見を知りそれを形にし、相手に伝えることで建築を学んでいると強く思いました。最初のエスキスは分からないことばかりでついていけないか不安でした。多くの意見を聞くようになった今は楽しく建築を学んでいます。今はまだ、将来の夢は決まっていません。二年生の目標は、一年生で建築を学んだことを踏まえ自分が本当にやりたいことを見つける年にしたいです。また、課外活動にも積極的に参加したいです。